北農工

独・アグリテクニカに出展
5社が6機種展示

来場者の強い関心を集めた北農工の展示

社団法人北海道農業機械工業会（細倉雄二会長）は、11月15から19日（プレビューディ13、14日）にドイツ連邦共和国ハノーバー市にあるハノーバー・メッセにおいて開催された「アグリテクニカ2011」に、北農工グループとして5社とともに出展、アピールし、好評であった。

今回は、約50㌶の敷地にある24ホールで開かれ、過去最高の41万人が来場し、盛況であった。

北農工グループは、ホール4で、108平方㍍のスペースに、㈱アトム農機、㈱エフ・イー、オサダ農機㈱、サンエイ工業㈱、東洋農機㈱の5社が6機種の製品を展示し、来場者の強い関心を集めた。

出展機種は次の通り。①アトム農機（リアバケットローダー＝F－2SPH）②エフ・イー（馬鈴薯皮むき機＝DWP－W）③オサダ農機（自走式ニンジン収穫機＝NS2000V）④サンエイ工業（ポテトハーベスター＝SS－1、SS－2）⑤東洋農機（株間除草機＝TFC4J）

経産省
冬の電力対策

3月まで節電要請
関西10%、九州5%など

経済産業省はこのほど、電力需給に関する検討会合を開き、今冬の電力需給対策について取りまとめて発表した。それによると、関西電力管内は12月19～3月23日にピーク時の使用最大電力を前年同月比10%以上、九州電力管内は12月26～2月3日に同5%以上の節電を要請するとした。その他の電力会社管内では12月1～3月30日の間、生活や経済活動に支障を生じない範囲で、節電を要請する。節電時間はいずれも期間中の平日9～21時（九州電力管内は8時～）で、12月29～30、1月3～4日は除く。

同省によると今冬は全国的に今夏より深刻とならないと見通しつつも、原子力発電の割合が高い関西電力管内では1月の予備率（供給量から需要量を引いた値）が▲7・1%に、九州電力も同▲2・2%になる見込み。東北電力管内では予備率が1月に▲3・4%となるが、震災からの復興需要に配慮し、東京電力や北海道電力から融通して供給力を確保する。

また、同省が発表した製造業向けの冬期節電メニューでは、生産活動への影響が少ない一般設備を中心とした節電を呼びかけており、具体例は▽消灯の徹底▽LED照明への交換▽工場内温度を19度Cに設定▽外気取入量を調整―など。

フラワービジネス大賞
育種・生産部門はクロカワストック

財団法人日本花普及センターは11月22日、日本フラワービジネス大賞2011の受賞者を発表した。

同賞は、「育種・生産」「販売・流通」「チャレンジ」の3部門について、多大な貢献や先駆的な役割を担っている、あるいは新たな課題に意欲的に取り組んでいる者を選考・表彰するもの。

今年度は最終選考の結果、「育種・生産部門」は㈱クロカワストック、「販売・流通部門」は岐阜花き流通センター農業協同組合、「チャレンジ部門」は日本クリスマスローズ協会がそれぞれ選ばれた。

授賞式と受賞者による特別講演は、12月12日に、日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2011の授賞式と併せ都内港区の南青山会館で行われる。

アグリEXPO経営大賞
品川牧場など受賞
日本公庫

日本政策金融公庫農林水産事業はこのほど、平成23年度「アグリフードEXPO輝く経営大賞」の各賞受賞者を決定した。同賞は地域の農林漁業や食品産業の優れた経営に大きく寄与した経営を表彰する。各賞の受賞者は以下の通りとなった。

【大賞】

〈経営部門〉＝㈲品川牧場（群馬県前橋市）、㈲ひよこカンパニー（鳥ストール牛舎やロータリーパーラー、哺乳ロボットなどの最新設備を導入し、自家育成100%にこだわり、能力の高い乳牛を計画的に生産している。IDタグで乳量・歩数などのデータ管理や、1日3回の多頻度搾乳を導入しているほか、業務を①搾乳などマニュ

お知らせ

【研究会・シンポ】

◇農研機構10周年シンポジウム「未来の農業を創る」＝12月5日午後1時半、於都内港区・ヤクルトホール

◇農業機械学会シンポジウム「第16回テクノフェスタ」＝12月8日11時、於さいたま市北区・生研センター

◇水田底力プロ・超低コスト作物生産技術の開

発成
午後
区・
スホ
研

◇
層細
の活
省力
日9
稲作

古・
ちホ

ぎ木

世界低炭素成長ビジョン
政府がCOP17で提言
さらなる技術革新を

政府は11月28日、地球温暖化問題に関する閣僚

カ・
ていく
我が
とし
ビジ
の表

暖化
組む
際枠
先進
同

長を
つつ
排出
示し
新へ
技術